

令和7年度 6月定例会会議録

- ◎開催日時 令和7年6月26日（木） 午後1時30分～午後3時15分
◎場所 伊那市役所 庁議室
◎出席委員 福與教育長、北原教育長職務代理者、黒河内教育委員、宮坂教育委員、中村教育委員
◎欠席委員 なし
◎出席職員 高嶋教育次長、唐澤学校教育課長、矢澤教育環境整備課長、柴生涯学習課長、北澤市誌編さん室長、小島社会教育指導員、小松指導主事、高嶋指導主事、村松こども部長、澁谷こども政策課長、宮下子育てサポート課長、北原教育総務係長

1 開 会

2 あいさつ 教育長

- ・教育委員会連絡協議会の総会・研修会、市内8小学校の運動会、主幹指導主事の学校訪問等に対応いただき、改めて感謝申し上げます。
- ・小中学校の運動会は、雨天のため1日延期しての開催となったが、子どもたち、保護者、先生達、皆の笑顔が光る青空であった。
- ・本会議に引き続き、総合教育会議が予定されているので、よろしく願いたい。

3 委員のひと言 宮坂委員

4 会議事項

第1 教育長報告

- ・5月24日に、第27回進徳館の日記念少年剣道大会、第31回進徳館の日が開催された。剣道大会は参加者増加、30人以上が参加し嬉しく思う。剣道場が少なくなっている中で、子どもたちが声を上げている姿は良いと思う。
- ・「進徳館の日」では、基調講演で高遠北小学校長の塚越先生が地域を学ぶ日、地域の日について、地域の皆さんと子どもたちが関わって学習をしている話をしていただいた。
- ・学習発表では、高遠高校生による台湾姉妹校との交流研修について発表をしていただいた。
- ・記念講演では、史跡高遠城跡保存活用計画策定中ということで、奈良文化財研究所特任研究員の内田先生から「近世城跡の近現代化と高遠城跡」と題して講演をいただいた。
- ・5月28日は東京藝術大学を訪問。本年の第39回伊澤修二記念音楽祭と来年度40回大会を迎えるということで、高遠美術館企画の「東京藝術大学連携40年展」の打ち合わせを行った。藝大が、高遠を大事にしていることを感じた。
- ・6月2日は学校サポートチーム会議。専門家の力添えをいただき、円滑な学校運営と子どもたちの健全な成長ということで設置。運用する中で、サポートチームの皆さん、そして学校の意見を聞きながら良い仕組みにしていく。
- ・6月3日は、人権同和教育推進協議会があった。本年は戦後80年ということで、「満蒙開拓」を研修のテーマにしている。
- ・6月8日は、第3回クラシック音楽の祭典。長年やってきたが、本年限りということであった。
- ・6月14日は、伊那谷現代作家6人展オープニング式典。高遠美術館の企画展で、上伊那地域で現在活動されている6人の作家の皆さんを取り上げた展覧会。多くの皆さんに来館いただいて、作品制作されている皆さんのことを知っていただく機会になればと考えている。
- ・6月17日から19日に6月議会一般質問が行われ、フィンランド教育と伊那の教育、ICT機器の利活用について質問を多くいただいた。

- ・6月23日に高遠学園構想推進連絡会が開催され、会議前には、授業参観をさせていただいた。少人数で学びたいことを時間をかけて学び、そこに先生が寄り添っており、時が穏やかに流れていると感じた。自己肯定感を高めていると感じた。
- ・6月25日は、生涯学習基本構想審議会。10人の審議員が委嘱され市長から諮問書が渡された。人生100年時代に向けての、新たな後期5年間の計画をしっかりと作っていききたい。

第2 報告事項

- (1) 児童生徒数見込みについて
- (2) 中学生の自習室2025夏の実施について
- (3) 集落支援員（教育移住担当）について

- ・学校教育課長から（1）から（3）まで、資料に基づき説明。

- ・教育委員会から「令和13年度は、現在より1,000人近く減。数字に転入の数は入っていないとのことであるが、ここ10年くらいの傾向から、転入はどのくらいありそうか。また、転入が見込めない場合は、小規模の学校は統合という考えになっていくのか。」旨の質問があり、学校教育課長から「手元に資料がなく、厳密な数字はお答えできない。教育移住のメインとなっているのは伊那小学校と小規模特認校の新山小、高遠北小、伊那西小の3校。伊那小には小学校に入る際に移住してくる児童、小学校に入学してから移住してくる児童と様々であるが、学校全体で30人くらいと思われる。小規模特認校については、年間で5〜7人程度が入ってくる年もあるが、年度により違いがあり、予測ができない面がある。」旨、また、教育長から「学校のあり方については、今後研究検討していきたい。」旨の回答があった。

- ・教育委員から「令和7年度から13年度になると、学校の規模が標準から小規模、小規模から過少規模と下がっていくが、どういう影響があるのか。」旨の質問があり、学校教育課長から、「教職員の配置は変わる。交付金等の変化はないと考える。例えば、大規模校だった東部中学校は、教頭先生が2名いたが、生徒数の減少に伴い令和7年度からは1名になっている。」旨、また、教育長から「補足をする、東部中は、国の基準は1人であるが、大規模校になっていた、県が1人加配をしていた。基本的には、基準に即した人数の配置となる。」旨の回答があった。

- (4) 伊那市ICTサマーキャンプ2025について

- ・教育環境整備課長から資料に基づき説明
(質問・意見なし)

- (5) 令和7年度伊那市二十歳のつどいについて
- (6) おいで塾の実施について
- (7) 井月俳句大会小中学校の部について
- (8) 伊那節継承事業の実施について
- (9) クラシック音楽の祭典について

- ・生涯学習課長から（5）から（9）まで、資料に基づき説明。

- ・教育委員から「(7) 井月俳句大会の表彰について、選ばれた特選、入選については、どこかで紹介されるのか。特選だけでも、各校に掲示をする等してはどうか。」旨の質問があり、生涯学習課長から「伊那市の公式ホームページ等で公表していきたい。掲示については、検討していきたい。」旨の回答があった。

(10) 人権同和教育事業について

- ・社会教育指導員から資料に基づき説明

- ・教育委員から「グループ協議をされ、理解が一層深まったと思う。先日の会議で、グループのまとめ等について、I C T機器を活用していたが、非常に便利なものであった。この研修に限らず、教育委員会の様々なところで使用することができるので、勉強していく必要があると感じた。」旨の意見があった。
- ・教育委員から『『あけぼの』をお借りして読ませていただいた。内容が濃く、扱うのに時間がかかると思像できる。感想にある教職員の悩みももっともだと思う。教職員が、やってみようと思えるような研修ができると良い思う。」旨の意見があった。

(11) 市誌編さん事業の進捗状況について

- ・市誌編さん室長から資料に基づき説明
(質問・意見なし)

(12) 来月以降の文化施設の行事日程について

- ・生涯学習課長から資料に基づき説明
(質問・意見なし)

(13) 共催・後援について

- ・学校教育課長から資料に基づき説明
(質問・意見なし)

5 その他

- (1) 来月の日程について
- (2) 8月以降の主な行事予定について
(質問・意見なし)

6 閉 会